

拓

12月号
No. 267

発行所
兵庫県漁業協同組合連合会
兵庫県水産改良普及協会
〒652 神戸市兵庫区中ノ島2-20-1
発行人 兵庫県漁業協同組合
会長 理事 山田岸 杉
TEL 681-6954~7
一部 10円

知識の相互交流と活動意欲の向上

第26回兵庫県漁村青年活動実績発表大会



主催者あいさつを述べる小南会長

内海ではつくる工夫 外海ではとる工夫

二百海里時代をむかえる沿岸漁業の振興がさげられている現在、日頃の研究
成果の発表と今後の活動方向を討議してゆく兵庫県漁村青年活動実績発表
大会が去る11月18日兵庫県水産会館で開催された。

本大会は昨年より県漁連、兵庫県、兵庫県漁連の三者で共催されている
もので、今年で26回を数えるに至った。大会で発表された数々の研究成果
は、これまでに県下津々浦々の漁業者にも多大の影響を与えている。
本年度は審査の結果全発表に知事賞が授与され、全国大会には「するめい
かつりの漁具漁法の改善について」(柴山港漁協青年部)が推せんされた。

全国大会には 柴山港漁協青年部が

今年で26回を迎える活動実績発表大会をはじめ、多く来
賓が来賓として出席し、大会に先立ち小南県漁協
代表者80名が参加 大会に先立ち小南県漁協
し、福井水産課長、山田県 青連会長は「漁業振興のあ
る農業にくらべ、きびしい

い間を利用しての活動には
種々の困難もあり、また生
活面においても多くの制約
をうけることも多いが明ら
かに漁村の基礎を創造してゆ
くには研究活動は不可欠の
条件である」と述べている。
また来賓の福井水産課長
は「減反政策を迫られている
農業にくらべ、きびしい
なかにも漁業は資源増強に
前向きな姿勢があり、明る
い将来がある」と、山田県
漁連会長は「やってよかつた
と全漁業者が感じよう
な漁業環境をつくってゆく
必要があり、その為に対話
の場をつくり一人一人が手
を組んで進んでゆこう」と
述べている。

一方、浜田県漁連会長は
「元気の足らない研究活動をつ
づけて、いつまでも良いパ
であったらいい」と母親の
立場から挨拶をした。

今年度の発表

この大会は漁村青年部の
代表者が集い、日頃の研究
成果を発表しあい、今後の
活動方向について討議議
を
知識の相互交流と

活動意欲の向上を図ると
もに、活動成果を普及し、
豊かな漁村の建設と、漁業
協同組合の健全な発展を期
し、本県沿岸漁業の振興に
寄与するもので、今年度の
発表は

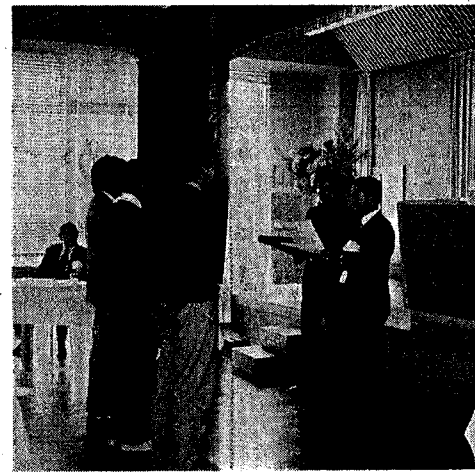
①ヒオキギ養殖試験につ
いて 家島漁協青年部
②クルマエビ産苗の生産
に取り組んで 淡路漁協4日クラブ
③するめいかつりの漁具
漁法の改善について 柴山港漁協青年部
の3件と例年にくらべ少な
かったが、
全発表とも
すぐれたも
のばかりだ
った。

審査にあ
たっては議
論百出し、
審査も長び
く結果、全
活面におい
ても多くの
制約をうけ
ることも多
い。明らに
漁村の基礎
を創造して
ゆくには研
究活動は不
可欠の条件
である」と
述べている。
また来賓の
福井水産課
長は「減反
政策を迫ら
れている農
業にくらべ
、きびしい
なかにも漁
業は資源増
強に前向き
な姿勢があ
り、明るい
将来がある
」と、山田
県漁連会長
は「やって
よかつた
と全漁業者
が感じよう
な漁業環境
をつくって
ゆく必要が
あり、その
為に対話の
場をつくり
一人一人が
手を組んで
進んでゆく
」と述べて
いる。

自立と連帯を求めて

第8回

洋上大学参加報告



小南漁青連会長より「励ましの言葉」をうける新規業者者

「このころ」をテーマに開
学された第8回兵庫県青年
部で、この洋上大学には
代表として室津漁協青年部
と室津漁協青年部が参加
した。同君は「新生中国の
さを見るなかで信念に燃え
た中国青年と接し多くのこ
のりやうとして活動をつ
づけている。

本年度新規漁業就業者
②名を代表して県漁連
山田佳三君(高砂)沖眞雄
君(福島)松本一夫君(柴
山港)に励ましの言葉を
おくり、また、県から
げまそうと激励会を開催し
は記念品が手渡された。

第3弾三県陳情

赤潮対策協

赤潮対策の抜本的確立を
目ざして粘り強い活動を推
進するため兵庫、徳島、香
川の三県系統団体により今
夏結成された「赤潮被害対
策三県協議会」では赤潮の
当面対策、技術対策の確立
を要請して過去三回に亘っ
ての関係機関に対し陳情を
重ねてきたことは既報のと
おりであります。引き
続き去る十一月十四日三県
の各県で当局と協力、合同
して中央機関に対し第三回
目の陳情活動を実施した。

今回の陳情は予算編成期
に当り、従来から要望して
きた赤潮発生機構の解明に
含む抜本対策はもとより当
に実施し、赤潮情報の収
要を再確認した。

漁船保険あれこれ

但馬漁船保険組合
専務理事 小林慶次

本組合は、本年で四〇
周年の意義ある年を迎え
たのであるが、やはり今
日に至る間には幾多の苦
難を克服し、漸くして
現在の基礎をつくること
が出来たと言ふことを忘
れてはなりません。

然しながら最近またもや漁業を取り
巻く環境は二百海里問題、資源の減少
等、わが水産業に取って大きな転機に
直面しておりますが、このような漁業
情勢を踏まえ、私なりに漁船保険に対
する主眼を述べさせて頂くこととしま
す。

漁船保険(普通損害保険)の発足以
来様々の改正、改革機運や満期保
険、特殊保険、漁船組員給与保険、漁
船積荷補償、漁船組員責任保険、漁
船乗組員主保険、海外操業漁船損害補
償事業等々、多彩な事業項目となり普
通保険に至っては、加入率、付保率共
に九八%ともはや保険が漁業経済に
とって切っても切れない存在に定着
し、漁業経営の安定に多大の貢献を果
してこれである現状ではあります。で
は、これだけの漁船保険が、漁船損害
賠償法が制定され義務加入制を取り入れ
てより急速な発展はしたもので、まだ
まだ不備の点が多く、これ等の保険の
改善こそ、この事業に従事する者の務
めであり、一層の情進を続ける所
存でもあります。

それでは私なりに将来解決すべき問
題について若干ふれてみたいと思いま
す。

その一つとして保険料に対する国庫
負担の低いこととありますが、この改
正を現状を打破する鍵となり、漁業
経営の安定につながるものと確信して
おります。

結局は漁民の政治力結集による外は
ないと存する次第であります。

次は、殊に衝突事故の原因は見限りの
不十分が大平を占めてる現状よりし
て、漁船作業の激務のため疲労の度合
がきつこともよくわかりますが、い
やしくも自船と船員の生命は見限りの
双肩にかかっているのですから組合員
各位の自覚をお願いして止ませませ
ん。

次の次としては漁業のうつり替りに
伴う、保険種類の多用化であり、この
ように多くの保険を売出すばかりで保
険(共済を含む)を早急に統合し、す
っきりした保険共済を確立すべき時期
が来ているものと感じている次第であ
ります。

ともあれ本組合の沿革、保険機構の
推移等については四十周年誌と名付け
て記念冊子を近日発行致しましたので
組合員並びに関係者の皆様の手元に
幸いと存じております。それにより本
組合の変遷をしのんで頂き漁船保険事
業の健全な発展がありますよう、皆様
のご尽力を切に期待してやみません。



主催者あいさつをする浜戸会長

研修会は、10月に県下4地区で開会されたプロック講習会の各地区での報告から始まりました。 これから漁業後継者問題について 日本海側の地区からは200	「第15回全国知人産業従事者クルージング研修会」への参加報告を行い、引き続き講話に移りました。 「現代社会とスポーツ」 神戸大学助教授 神吉賢一先生
海内問題、内海地区からは赤潮問題等々、漁業を続けるには難かしいことが多いけれども、子供には漁業を引き継いでもらいたいと言う意見が大半を占めていました。そのために言うはり子供達が職業上や職業に誇りが持てるよう、従来から要望をつけていた専門の技術をぶごとの出来る「水産高校」の早期設置を重ねて提出しました。兵庫県会成長戦略対策事業の推進について	現代社会ではあらゆるにも便利になりすぎて、間本来のゆとりがなく、また運動量が不足し、老化現象が進んでいる。若者が健康を保ち、老化を遅らせるために、D・ホワイ氏の言葉から、次の5つのご提案を述べたい。 1 太りすぎないようにしよう。 2 運動をしよう。 3 禁煙に努力をしよう。 4 できればなさい。 5 長生きする家系に生れたい。 (もしは希望ですが……) 先生は、以のやにまとめられたが、一家の健康管理には日頃得心を配っているだけにメモをと

船舶検査手数料改定のお知らせ

このたび、船舶安全法施行規則の一部が改正され、さる12月1日より、小型船舶の検査手数料が、次のとおり改定されました。

◎船舶検査手数料

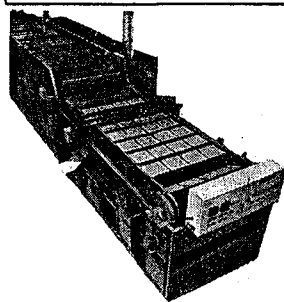
検査の種類		船の長さ	5メートル未満	5メートル以上 10メートル未満	10メートル以上 12メートル未満
定期	旅客船以外の船舶	無甲板船	8,400円	12,100円	17,300円
		有甲板船以外の船舶	9,600円	13,800円	
検査	旅客船	無甲板船	11,600円	16,700円	25,000円
		有甲板船以外の船舶	13,300円	19,200円	
中間	旅客船以外の船舶	無甲板船	4,000円	7,100円	10,700円
		有甲板船以外の船舶	4,600円	8,200円	
検査	旅客船	無甲板船	6,400円	10,500円	16,500円
		有甲板船以外の船舶	7,400円	12,200円	
臨時検査または臨時航行検査			臨検回数1回につき		2,300円

(注1) 旅客船とは、旅客の定員が13人以上のものをいいます。
(注2) 部分甲板がある船は「無甲板船以外の船舶」の扱いとなります。
(注3) 定期検査の手数料の額には、検査済票の交付手数料1,200円を含んでいます。

◎証書等費換え又は再交付手数料

船舶検査証書の 再交付	1 通につき	1,700円
臨時変更証の 再交付	〃	1,200円
船舶検査済票の 再交付	1 組につき	2,300円
臨時航行許可証の 再交付	1 通につき	1,200円
船舶検査手帳の 再交付	〃	2,300円

省力化の決定版 !!



全自動乾海苔製造裝置

二千モウ **フナバシ**

二チモウ株式会社

大阪営業所
大阪市北区中之島2-22(新朝日ビル)
TEL 06 (202) 5341

11.9

漁船・水産設備は

リースで

兵庫県水産課・兵庫県漁連

漁協婦人部幹部研修会

—成山莊—

◇新漁船等貸与制度とは◇

兵庫県では、昭和四十九年度から昭和五十二年度まで早くから利用されています。お願いいたします。

に對するご理解とご協力を
お願いします。

◇新漁船等貸与制度の

改定事項◇

、新しい制度では、貸与の対象物件が「漁船及び漁業用機械等」と変更しました。

従って、**旧制度では**

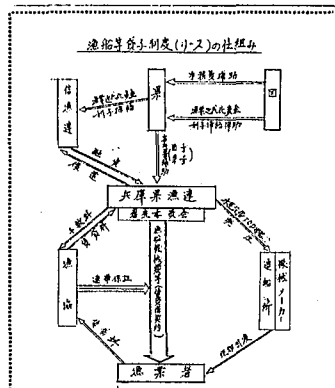
リース物件の明細

1. 漁船
 総トン数20トン未満
 のF R P製漁船及び
 漁船用機関
2. 漁業用機械等
- (1) 漁撈機械
 漁船用カ釣機械、
 漁船用ウインチ、
 揚網機、揚網機、
 発電機、無線機器、
 ローラン及びレーダ
- (2) 加工処理機械
 魚体処理機械、のり
 加工機械及びわ

(注) 上記物件で、同一機種1セットの金額が100万円以下のものは対象より除外する。

選振ですが、単品リースでは、原則として貸与物件の法定耐用年数以内となりました。

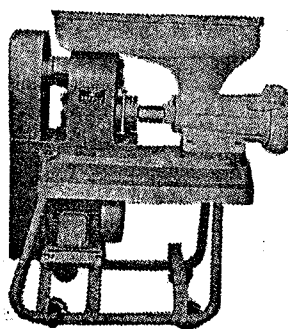
TEL(〇七八)
六五二一三四二四



厚生共済（フシキョウ）は、全水共が行う団体信託（グループ・トラステッド）と加工処理機械（マシニング）と全水共の火災保険、漁船と漁撈機械については漁船漁撈除隊に夫々加入して頂きます。付保額はリースと残額となります。四、個人版のリースと協業。個人版のリースは、貸与申請書の様式変更をなし、協業体は出資者（若しくは保証参加者）五名の経歴が健全であることが必要となりました。

養魚の調餌と造粒は

コウベヒラガのミートチヨッパーで



養魚用ミートチヨッパー№32から№72まで各種製作しています。又最近の人工餌料需要の増加にともない生魚と人工餌料をよく練り合せ造粒装置付チヨッパーで給餌することもできます。

(御一報次第カタログ贈呈いたします)

ミートチヨッパーとプレート、ナイフの専門工場

株式会社 平賀工作所

神戸市長田区水笠通5番5号
TEL 代表神戸(078) 921-1527

7月の海況と漁況

◎ 海況

- ※ 大阪湾(淡路島側)……19日の海洋観測結果では全域にわたって表層23.0~23.5℃、中層22.5~23.0℃、底層22.0~22.5℃を示し上下差±1.0℃内外では年平均並に昇温している。
- ※ 播磨灘……3~4日の調査結果では、全域にわたって表層21.5~24.5℃、中・底層は21.0~23.0℃を示し水域の偏差が大きく、とくに中西部では底層で19.5℃内外の低水温帯があるが年平均比較では各層+1.0~1.5℃と高目を示している。
- ※ 紀伊水道北部……18日の調査結果では東部表層23.5℃内外、中層23.0℃内外、底層20.5℃内外を示しとくに和歌山県沖ノ島沖合(K2)では前月より水温上昇が全く見られず前月は年平均比較で+1.0~2.0℃と大巾な高目を示したが、本月は逆に-1.5℃内外低目、また中部(沼島南部)はそれとは逆に表層26.2℃(+2.2℃)中層24.0℃(+1.1℃)、底層20.3℃(±0)を示し大巾な高目でこの東・中部海域は6月に引き続き異常分布を形成している。西部は平常よりやや高目である。

◎ 漁況(各地)

註・以下は1日1隻当りの平均漁獲量@は1キロ当りの平均単価円、何隻は操業隻数。

- ※ 明石浦……小型底曳網メイタカレイ15キロ@5,500、アマカレイ20キロ@4,000@2,500、マダコ30キロ@650、エビ10キロ@1,000@600、アナゴ5キロ@1,350、35隻(大阪湾北西部)。メイタカレイ13キロ、アマカレイ20キロ、マダコ23キロ@800、3隻(明石海峡)。メイタカレイ20キロ、アマカレイ27キロ、マダコ15キロ、エビ10キロ、アナゴ5キロ、メイタカレイ@20キロ@1,250、30隻(播磨灘東部)。各曳網マルアジ40~50尾(目廻り250g)@1,500、60隻。スズキ5キロ@4,500@3,000、10隻。延縄アナゴ50キロ@1,250、2隻。ブンチン湾イシカレイ15キロ@1,500、4隻。
- ※ 岩屋……船曳網カタクチシラス300キロ@750~1,200、16統。小型底曳網エビ13キロ@1,000、アナゴ13キロ@600、マダコ20キロ@1,000@500、ノソフカ7キロ@310、11隻。曳網マルアジ15キロ@1,650、一本釣スズキ3キロ@4,700、セイゴ2キロ@4,000、合計64隻。五智網マダイ5~10キロ@3,500(死)2,000、7隻。延縄キス12キロ@1,600、3隻。龍網マダコ25キロ@900~1,200、3隻。
- ※ 由良……小型底曳網マダイ4キロ@4,950、20隻。ハモ2キロ@5,950、アナゴ20キロ@540、マダコ5キロ@1,450、小エビ13キロ@410、シラサエビ5キロ@2,000、60隻。各一本釣マダイ3キロ@5,000、30隻。アジ4キロ@1,700、55隻。各延縄カサゴ20キロ@1,060、5隻。アコオ6キロ@7,500、3隻。各刺網キス15キロ@1,300、7隻。アマカレイ4キロ@2,700、ベラ8キロ@1,150、7隻。タコ龍網25キロ@1,580、3隻。突棒アワビ3キロ@2,470、10隻。
- ※ 沼島……小型底曳網カワツエビ(活)、10キロ@1,500(死)15キロ@500、ガザミ1キロ@2,200、アナゴ18キロ@900、小エビ10キロ@500、ノソフカ15キロ@500@150、クルマエビ1キロ@5,500、44隻。各一本釣アジ6キロ@1,600、50隻。マダコ8キロ@850、10隻。刺網マダイ7キロ@3,000@2,500@2,000(4~5日間のみ)、アカシタ50キロ@1,400、26隻。龍網マダコ25キロ@1,100、1隻。
- ※ 福良……小型底曳網シラサエビ1キロ@5,000、カワツエビ3キロ@1,600、小エビ(活)13キロ@500、(死)25キロ@200、ウシノシタ3キロ@1,000、その他6キロ@500、25隻(エビ溜)ウシノシタ25キロ@2,000、メイタカレイ5キロ@3,000、4隻。五智網マダイ6キロ@3,200、キス30キロ@1,470、ノソフカ3キロ@300、5隻。各一本釣キス4キロ@1,480、14隻。カサゴ4キロ@1,250、3隻。マダコ8キロ@850、31隻。マサバ67キロ@420、17隻。撒餌釣マサバ80キロ@565、アジ5キロ@1,700、エソ3キロ@130、3統。各延縄ベラ13キロ@1,500、2隻。アナゴ15キロ@600、2隻。ハモ10キロ@4,800、12隻。刺網アイナメ4キロ@1,000、アコオ1キロ@4,000、ハリイカ1キロ@800、オコゼ2キロ@3,000、13隻。龍網マダコ85キロ@1,000、3隻。各突棒ウニ40枚1枚700、5隻。タコ3キロ@900、アワビ4キロ@2,000、イソガイ17キロ@350、20隻。
- ※ 丸山……五智網25キロ@3,300、4隻。小型底曳網マダイ10キロ@3,300、3隻。エビ55キロ@300、アナゴ6キロ@500、4隻。一本釣マルアジ10キロ@1,000、5隻。延縄カサゴ20キロ@1,300、アナゴ3キロ@500、15隻、各刺網メイタカレイ10キロ@1,500、アマカレイ15キロ@1,600、8隻。マルアジ15キロ@750、キス20キロ@900、3隻。龍網マダコ30キロ@1,200、5隻。

